

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		Z3001-2		事務事業名			地域力向上事業			事業期間			平成30年度		～	令和8年度以降					
実施計画事業																					
実施計画事業以外の事業		○		担当部			健康生きがい支え合い推進部			担当課・担当係			支え合い協働推進課・市民協働係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	自治体経営編		基本 施策	30	展開 方向	1	事業・予算区分		一般事業		款	2	項	1	目	14	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	—								対象 (何・誰を対象に)		市民、市民活動団体、区、地域協議会など									
	目的 (何のために)	地域力の向上に資する様々な事業を通じて、市民の自主性・自立性を醸成し、支え合い・助け合いの地域づくりに寄与する。								内容 (どのような方法で)		◆こまき市民討議会まちづくりミーティング 無作為抽出による案内に応え集まった市民がまちの課題について討議する市民討議会を(一社)小牧青年会議所、ファシリテーターの会との協働により開催する。 ◆地域ミーティング 支え合い・助け合いの地域づくりの実現に向け、小学校区ごとに住民参加のミーティングを開催する。 ◆こまき地域づくりフォーラム(R3廃止) 市民の地域づくりへの関心や参加意識を高めることを目的としてフォーラムを開催する。									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6	
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	365	807	630	752		
				国・県支出金		—	—	—	—		
				その他		—	—	—	—		
			計(A)		365	807	630	752			
			対前年比		%	—	221.10%	78.07%	119.37%		
	予算額				千円	2,048	1,591	1,110	1,189	1,166	
	人件費	正規職員				人	0.5	0.5	0.5	0.5	
		正規職員(平均賃金)				千円	3,743	3,743	3,743	3,743	
		その他職員				人	0	0	0	0	
		その他職員(時給×時間)				千円	0	0	0	0	
		計(B)				千円	3,743	3,743	3,743	3,743	
事業費合計(C=A+B)					千円	4,108	4,550	4,373	4,495		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	30	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
	展開方向	1	1	こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」利用登録団体数	団体	↗	262	288	—	—	
			2	協働による事業実施数	事業	↗	73	70	—	—	
			3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	地域に貢献する活動をしている市民の割合	%	目標	—	—	—	—	—
				実績	19.3	18.5	—	23.1	
		こまき市民討議会まちづくりミーティングの参加者数	人	目標	—	—	—	—	—
				実績	38	28	30	31	
	活動指標	地域ミーティング開催数	回	目標	5	3	3	3	3
				実績	0	2	1	1	
		こまき市民討議会まちづくりミーティング無作為抽出の送付数	通	目標	—	—	—	—	—
				実績	2,500	2,500	3,500	3,500	
	単位あたり 事業費	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
		受益者あたり事業費(=C/a)		円					

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの						
	事業の達成状況と課題	◆こまき市民討議会まちづくりミーティング 令和4年度に謝礼金をやめ、無作為抽出の対象送付数を2,500通から3,500通に変更。毎年30人近い参加があり、まちづくりへの参画のきっかけづくりとなっている。今後も、市民の自主性・自立性を醸成し、支え合い・助け合いの地域づくりに寄与するため、継続して実施していく必要がある。	今後の実施内容・今後の改善内容	今後も「こまき市民討議会まちづくりミーティング」、「地域ミーティング事業」の各事業についてボリュームを維持していく。 「こまき市民討議会まちづくりミーティング」における無作為抽出による本人宛の案内、参加回答の方法について、郵送以外の方法を検討し、郵送代(通信運搬費)、印刷代(印刷製本費)の削減を図る。					
		◆地域ミーティング 米野小学校区において地域づくり住民勉強会として「地域協議会の必要性に関する講演」を開催し、区長や民生委員など38名の参加があった。今後も、市民の自主性・自立性を醸成し、支え合い・助け合いの地域づくりに寄与するため、継続して実施していく必要がある。							
	改善の有無	無	事務事業評価による額	0千円 節 細節 細々節					
これまでの改善内容									

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	支え合い・助け合いの地域づくりのためには、市民の自主性自立性の醸成が必要であるが、現時点では十分でなく、行政が公費を投入して実施する必要がある。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	今後の人口減少、少子高齢化社会を見据え、支え合い・助け合いの地域づくりをするためには、市民の自主性自立性の醸成が必要である。しかし、現時点で市民の自主性自立性の醸成は十分ではなく、継続して支援していく必要がある。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	「こまき市民討議会まちづくりミーティング」における無作為抽出による本人宛の案内、参加回答の方法について郵送以外の方法を検討し、郵送代(通信運搬費)、印刷代(印刷製本費)の削減を図る余地がある。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	市民討議会は、小牧青年会議所、ファシリテーターの会との三者協働で開催しており、現時点で最適の手法と考える。 地域ミーティングについては、地域協議会未設立小学校区において、地域住民や団体の方が集まり、地域の課題等に関する意見交換を行うものであるため、現時点で最適の手法だと考える。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	地域力向上のために市から参加を促して実施するものであり、参加者に負担を求めるのは適切でないと考える。